



農業委員会  
会長 高久和司

## 会長あいさつ

明けましておめでとうございます。日頃より農業委員会の活動に対し、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

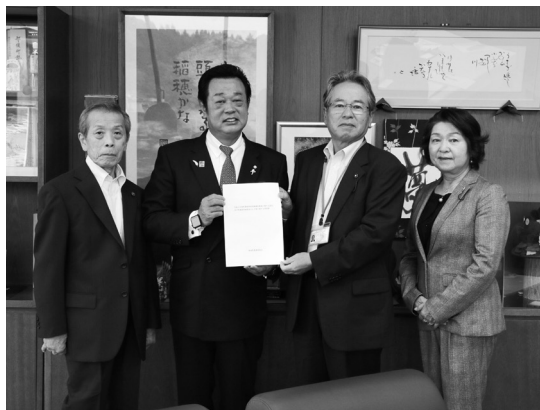
昨年を振り返りますと、記録的な高温がいつまでも続き、夏の終わりも見えないような「異常気象」でした。新潟県などでは猛暑の影響で一等米の割合が激減し、農家の収入に大きな影響が出ています。新潟県農業総合研究所では品種改良により、暑さに強い「コシヒカリ」の開発を進めています。今後は猛暑が常態化することが懸念されます。

さて、町では農業に関する「地域計画」を令和6年度末までに作成いたします。農地の10年後のあるべき姿を明示した「目標地図」を農業委員会が作成いたします。作成にあたり実施しました「農地利用意向調査」にご協力を頂きまして誠に

ありがとうございます。今後は、調査結果を反映した地図を作成し、各地域で話し合いを実施いたします。農業の担い手不足が深刻です。持続可能な農業のために重要な話し合いですので、ひとりでも多くの方の参加をお願いいたします。

昨年の7月に農業委員及び農地利用最適化推進委員の改選が行われ、新体制が発足しました。今後もさらなる農業の発展に向けて、農業委員会一丸となつて業務に取り組んでまいります。ご支援の程よろしくお願いいたします。

結びになりますが、今年の干支は甲辰（きのえ・たつ）です。「万物が成長し、活気あふれる年」とされています。皆様にとっても活気あふれる一年でありますようご祈念いたしまして、あいさついたします。



10月4日要望活動時の様子

令和6年度

### 農地等利用最適化推進に関する意見及び町農業等施策並びに予算に関する要望及び町からの回答

農業委員会では、「令和6年度町農地等利用最適化推進に関する意見及び町農業等施策並びに予算に関する要望」をまとめ、10月4日に平山町長（写真右）と室井議長（写真左）へ要望書を提出し、11月14日に町から回答がありました。

要望、回答の概要は、次のとおりです。

黒…要望 緑…回答

#### 1 稲作部門について

##### (1) 基盤整備事業の推進について

【要望】基盤整備は、農作業の効率的な土地利用が図られ、担い手への農地の集積・集約化や耕作放棄地の増加を防ぐための方策として極めて重要と考えております。しかしながら、地理的条件や地域の合意形成、農地所有者の負担等が大きな支障となり、基盤整備が進まない状況にあります。

担い手への農地集積を推進すると共に、農地を有効利用することによる農業経営基盤強化を図るため、基盤整備事業の計画的且つ積